

たんぽぽ保育園 「親子でふれあう、楽しい音楽遊び」

11月7日にたんぽぽ保育園が開催したイベント『親子でふれあう、楽しい音楽遊び』が、福島民報と福島民友の記事に掲載されました。

福島民報

11月13日掲載

親子でダンスや演奏楽しむ 喜多方市のたんぽぽ保育園



佐藤教授(右)とダンスを楽しむ園児ら

喜多方市のたんぽぽ保育園の「親子でふれあう、楽しい音楽遊び」は7日、市内の飯塚病院生活療法館で開かれた。福島学院大保育学科の佐藤敦子教授を講師に招き、親子がダンスや楽器演奏を楽しんだ。

2歳児以上の園児と保護者合わせて約60人が参加した。たんぽぽ保育園では2024(令和6)年1月から佐藤教授を招いた音楽遊びに取り組んでいる。親子で歌って踊る楽しさを体験してもらおうと初めて開いた。園児らは全身を使ってダンスをしたりマラカスや鈴などの楽器を演奏したりして音楽の楽しさに触れた。

福島民友

11月26日掲載

五感を使って園児の心身の発達を促した音楽遊び教室



五感使って音楽遊び 喜多方、保育園で教室

たんぽぽ保育園(喜多方市)は7日、喜多方市の昨雲会生活療法館で五感を使って子どもの心身の発達を促す「音楽遊び教室」を開いた。

2〜5歳児の園児と保護者計約65人が参加した。音楽教育に取り組む福島学院大短期大学の佐藤敦子教授を講師に招いた。タンバリンやマラカス、ハンドベルなど、さまざまな楽器を使い、子どもたちが音楽に合わせて体を動かしたり、手拍子をしたりして親子で楽しんだ。